

育ちあい

発行：東桃谷幼児の園

2015年 9月号
No. 142

〒544-0033
大阪市生野区勝山北
3-4-33
(06) 6731-0209



こぐま組（3歳児）のグループ当番をしている様子です。グループの友達に給食を配っています。毎日、当番が替わるので、自分の番がくると「やったー！」とお友達にしてあげるのが嬉しいようで、はりきっています！

自我の芽生え、自己主張とは

園長：小日向 浩子

子どもは、1歳すぎから少しずつ一語文を獲得していきます。「ワンワン」「マンマ」などの簡単な乳児語と言われることばです。1歳半頃になると、一語文が増えていきます。動物はすべて「ワンワン」と言っていたのが、猫を見れば「ニャーニャー」、牛を見れば「モーモー」などと使い分けができるようになってきます。一つひとつを区別する認識が発達してきた証です。

その頃子どもは「いや」という言葉も獲得します。大人のことばに対して、何にでも「いや」と答えるように思えるほど「いや」を連発します。自我の芽生えの現れで、一歳半頃の大きな発達の特徴です。

この時期の子どもは「いや」と反発しながらもことばで行動を起こすことはできるけれど、行動を止めることはできないので「やめなさい」「じっとしていなさい」というような声かけには従うことができません。「〇〇しようね」というような行動を引き起こすようなことばかけが必要です。

2歳児になると、自我が育ち自律性が拡大していく中で、「じぶんです」と強く主張する姿が見られます。まだ実際には出来ないことでも「じぶんです」と言い張ります。またこの頃には、大人のことばに対してわざと反対のことを言って大人に反抗することも多く、「～しよう」と大人が声をかけると本当はしたいにもかかわらず「したくない」と答えたりします。わざと反対のことを言ったりするので、大人が目から見ると反抗的に見えるかもしれません。しかし、子どもは自我が育ち自律性が拡大する中で精一杯の自己主張をしているのです。反抗期というより「自立のための抵抗期」の時期で「自律から自立」へ成長していくための、大切な「抵抗」です。

○ご意見をお寄せ下さい○ 読んで、感じたことや思ったことをお気軽にお寄せ下さい♪

mail : mokomoko@e-momodani.ed.jp

東桃谷幼児の園ホームページ : e-nomodani.ed.jp
東桃谷幼児の園で検索して下さいね♪

園だより

「おしっこデタよ」りすぐみ(1歳児)

東桃谷幼児の園では、座位を獲得できた頃からオマルに座っています。お昼寝から起きた後など生活の節目のタイミングが合いやすい時間から始めています。また、布オムツで過ごし、四つばいを始めた頃を目安にパンツをはいて日中過ごしています。

1歳児りすぐみではトイレに座って出ることが増え、男の子は立って用を足す経験もしています。出ると「デタ」と知らせてくれたり下を覗いて指をさしています。



★保育園開放★

～東桃谷幼児の園では、未就園児のお子さん、保護者の方を対象に子育て支援活動を行っています～



<もこピヨ>

月に一回、保育園のホールやお庭で遊んで頂けます。9月は「大きな紙に描こう」で絵の具で遊びました。お家ではなかなかできないので親子でいっぱい描きました。参加ご希望の方は、お電話又はメールでお問い合わせ下さい♪
(4月をのぞき基本第3木曜日)

・次回 10月15日(木) 運動会

☎ 電話：06-6731-0350 担当：神原・芝田

✉ メール：mokomoko@e-momodani.ed.jp

*東桃谷幼児の園のお庭や子育て支援棟「もこちゃん」で親子で自由にあそべます。お気軽におこし下さい。

・開放日は毎週月～金曜日(火曜日のみ、0・1歳児対象です)

・10:00～12:30・13:00～15:30 電話:06-6731-0350



「福祉のひろば」

福祉の事から社会情勢など様々な事がわかる一冊!!是非お買い求め下さい。

9月号

特集「わたしはなぜ社会福祉現場で働くのか」

定価 540円(税込)

年間購読 6480円(税込)

<お問い合わせ先> 担当：田中・神原

☎ 電話：06-6731-0350

✉ メール：mokomoko@e-momodani.ed.jp